

日本水環境学会第 58 回年会併催 テクニカルランチミーティング

「高感度分析用超純水の上手な使い方・ノウハウと PFAS 分析事例のご紹介」

日時 2024 年 3 月 7 日 (木) 12:20~13:20 (受付開始 12:15 頃)~

会場 年会 D 会場 (九州大学伊都キャンパスセンター 2 号館 4 階 2407 教室)

主催 ヴェオリア・ジェネッツ株式会社 エルガ・ラボウォーター事業部

参加費 無料、昼食付 (先着順、直接会場までお越しください)

演者 黒木 祥文 (ヴェオリア・ジェネッツ株式会社エルガ・ラボウォーター事業部)

テーマ 「高感度分析用超純水の上手な使い方・ノウハウと PFAS 分析事例のご紹介」

概要

環境分析の高感度化に伴い、分析用水の高純度化も求められています。非常に清浄な海洋水の成分分析や ppt レベルでの検出が問題になる PFAS 分析などの高感度分析において、用いる超純水に求められるポイントを、精製・採取・使用方法等の多面的な視点から解説いたします。

特に PFAS 類では現在も水道水質基準の改定や米国 EPA の基準の厳格化の方向性が示されるなどより一層の高感度分析が求められており、今後の動向が注目されています。

今回、超純水中の PFAS 類の検出を行い、これらの分析結果から PFAS 分析のブランク水としてそのまま用いることが可能なことをご報告します。

また 分析装置に直接超純水を供給することができる超純水装置により、ブランクの低減ひいては高感度化を図ることができることを合わせてご報告いたします